

産業教育フェアにて発表しました！

第24回 生徒研究成果作品審査会

インテリア科では実習の授業で「福祉家具」の制作に取り組んでおり、今年度は「児童福祉」をテーマに施設と連携した家具製作を行った。

児童が室内で遊べ、さらに収納の機能を備えたすべり台を制作した。

去った11/15・11/16に行われた産業教育フェアでインテリア科を代表して新垣忠勝さん、新垣球動さんが幼児用すべり台の発表を行いました。結果は4位と、惜しくも入賞を逃しましたが、作品はとても素晴らしいと好評価でした。

幼 児用すべり台

「収納を備えた「楽しい」福祉家具」

製作者：
浦添工業高等学校
インテリア科 3年
新垣 忠勝
新垣 球動

素材：
シナ合板、セパ製成材、コシ木
サイズ：
750×550×2000mm

インテリア科3年生の実習では、「福祉家具」の制作に取り組んでいます。
今年度は「児童福祉」をテーマに福祉施設と連携した家具製作を行いました。
私たちは、子どもたちが室内で遊べて、収納の機能を備えたすべり台の制作を試みました。

POINT 1

階段がコンパクトに!!

階段を引き出すと段差がついて止まり、しまると4段とも面に揃うようにしました。
また、スムーズに動くよう工夫するため、何度も模型を作りました。

POINT 2

収納になる階段!!

小物などを片づけることができる収納。

POINT 3

「渋い」デザイン!!

アクセントとして階段部分の縁取りに色の濃い木材（コシ木）を使用。
また、小さな子どもたちが遊ぶので角に丸味をつけ、手触りが良くなるよう磨きにも気を配りました。

「福祉家具」とは？

高齢者や障害者が自立して生活しやすいような自立支援家具のことです。日本の家具は、さまざまな身体的機能が低下した人には使いにくいものが多いため、立ち上がりやすいイスや伝わり歩きしやすいテーブルなど、高齢者や障害者の視点に立った家具を開発することで健常者にも使いやすくします。（「大川福祉家具研究開発協議会」HPより）

これまでの活動について

数年前の卒業生から3年実習で福祉家具の制作をし、病院や福祉施設などへ制作した福祉家具を寄贈しました。昨年は、介護施設に併設されている保育園にも、おもちゃを制作し寄贈しました。

